

研究要旨

難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎の治療指針作成に向けて、分担施設として症例の登録作業を継続した。またガイドラインの作成に向けて分担原稿の執筆を行った。

A. 研究目的

難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎は JESREC study で診断基準が定まったが、治療の標準化は未だなされておらず、施設によって成績にも差がみられる。この点に鑑み本研究では国内共同疫学研究で好酸球性副鼻腔炎の保存的療法、手術療法の治療効果の検討を行い、治療の最適化を目指す。東京大学も分担施設として症例データの蓄積を行う。

B. 研究方法

本研究は全国 15 施設共同疫学研究であり、2015 年～2019 年の手術症例および 2017 年～2021 年の保存的治療症例の臨床データを蓄積する。データの送付は電子送信システムを用いる。

（倫理面への配慮）

本研究は東京大学医学部倫理委員会の承認を得て行う。

C. 研究結果

東京大学医学部倫理委員会の承認のもと、症例の登録作業を進めた。現在当院からは合計 16 名の参加者の臨床データの登録を行った。また診療ガイドラインの作成に向けて分担原稿（治療：生物製剤）の執筆を行った。

D. 考察

好酸球性副鼻腔炎の治療は現在ガイドラインと呼ばれるものがなく、手術方法、保存的治療いずれも施設ごとに対応が異なっている。本研究の遂行により国内における治療の標準化がなされ、治療成績の向上が期待される。

2020 年度はコロナウイルス感染拡大に伴い鼻科診療が制限され、また患者の受診控えもあったため

登録が滞ったが、現在ほぼ通常の鼻科診療を再開しており今後蓄積が順調に進むことが期待される。

E. 結論

難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎の治療指針作成に向けて、分担施設として症例の登録作業を継続した。またガイドラインの作成に向けて分担原稿の執筆を行った。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1: Okano M, Kondo K, Takeuchi M, Taguchi Y, Fujita H. Health-related quality of life and drug treatment satisfaction were low and correlated negatively with symptoms in patients having severe refractory chronic rhinosinusitis with nasal polyps. *Allergol Int.* 2020; S1323-8930(20)30168-4.

2: Kagoya R, Kondo K, Kishimoto-Urata M, Shimizu Y, Kikuta S, Yamasoba T. A murine model of eosinophilic chronic rhinosinusitis using the topical application of a vitamin D3 analog. *Allergy.* 2020 (in press).

3: Adachi T, Kainuma K, Asano K, Amagai M, Arai H, Ishii KJ, Ito K, Uchio E, Ebisawa M, Okano M, Kabashima K, Kondo K, Konno S, Saeki H, Sonobe M, Nagao M, Hizawa N, Fukushima A, Fujieda S, Matsumoto K, Morita H, Yamamoto K, Yoshimoto A, Tamari M. Strategic

Outlook toward 2030: Japan's research for allergy and immunology - Secondary publication. Allergol Int. 2020; 69:561-570.

4: 足立剛也, 貝沼圭吾, 浅野浩一郎, 天谷雅行, 新井洋由, 石井健, 伊藤浩明, 内尾英一, 海老澤元宏, 岡野光博, 桃島健治, 近藤健二, 今野哲, 佐伯秀久, 園部まり子, 長尾みづほ, 檜澤伸之, 福島敦樹, 藤枝重治, 松本健治, 森田英明, 山本一彦, 吉本明美, 玉利真由美. 免疫アレルギー疾患研究 10 年戦略 2030 「見える化」による安心社会の醸成. アレルギー. 2020; 69(1): 23-33.

2. 学会発表

1. 近藤健二、岡野 光博 竹内 まき子、田口 有里恵、藤田浩之: 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎患者の疾病負荷及び健康関連 QOL に関する検討. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会、2020 年 9 月 15-16 日、横浜

2. 近藤健二: 慢性副鼻腔炎患者における疾病負荷と臨床的展望 慢性副鼻腔炎患者の疾病負荷を考える. 日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2020 年 10 月 6-7 日、岡山

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし